ジャーニースルータイム マスタープラン(Journey Through Time Masterplan)は、アルウラの文 化遺産と遺産を保護し、世界と共有するための大きな一歩である。

-5つのユニークな地区は、「ホスピタリティのワディ」(Wadi of Hospitality)と呼ばれる全長20km の公共領域に接続し、アラビア北西部に位置するユニークな文化的景観であるアルウラの全長20km の中心的歴史地域全体に残る20万年の自然と人類の歴史を保護する。ワディ(季節の峡谷)を含み、ユネスコの世界遺産であるナバテアの都市へグラで最高潮に達する。

-アルウラ開発プログラムの最初のマスタープランは、「生きた博物館」として考案され、15の新しい文化財、9 kmに及ぶ活性化された文化オアシス(Cultural Oasis)、1,000万平方メートルの緑のオープンスペース、46kmの低炭素路面電車が含まれている。アルウラのホスピタリティは、さらに5,000室のホテルキーを提供することになる。

サウジアラビアのアルウラ, 2021年4月7日 /PRNewswire/ --アルウラ王立委員会のモハメッド・ビン・サルマン皇太子殿下は本日、20万年の自然と人間の歴史に訪問者を虜にするサウジアラビアのアルウラのジャーニースルータイム マスタープランに着手した。

マルチメディアニュースリリースを閲覧するには、こちらをクリックしてください: https://www.multivu.com/players/uk/8878751-the-journey-through-time-masterplan-alula-cultural-heritage-site/

ジャーニースルータイム マスタープランは、デザインと空間的ビジョンにおいて、15年間の開発プログラムを策定し、アラビア北西部にあるユニークな文化的景観であるアルウラの中心的な歴史的地域を責任を持って持続可能な方法で開発する。

この計画は、サウジアラビアのビジョン2030を推進するもので、多様化した経済と活気に満ちたコミュニティの成長を加速させるとともに、「生きた博物館」としてのアルウラの発展に新たな章を開くことになる。

ジャーニースルータイム マスタープランは、アルウラを遺産、自然、芸術、文化の世界的な目的地に変えることになる。 マスタープランの主な特徴は次のとおりである。

- アルウラの中心部20kmにまたがる5つの地区は、ジャーニースルータイムの中間地点として、南の旧市街から北のヘグラ歴史都市まで広がり、それぞれの地区が自然と文化遺産によって形作られている。対象の地区は次のとおりである。アルウラ旧市街(第1地区)、ダダン(第2地区)、ジャバル・イクマ(第3地区)、ナバテアホライズン(第4地区)、ヘグラ歴史都市(第5地区)。
- これらの地区ではそれぞれ既存の遺産に光が当てられ、アルウラの古代オアシスが横断する。「文化オアシス」の中心となる9kmのエリアは、アルウラ旧市街をはじめとして全面的に再生される。
- 博物館、ギャラリー、文化センターを含む15の新しい文化財は、各地区のランドマークとして機能する。
- 古代オアシスの地に沿って走る20kmの「ホスピタリティのワディ」は、5つの地区を繋ぎ、 ジャーニースルータイムの緑の歩道を形作る「背骨」となっている。
- 46kmの低炭素路面電車路線がアルウラ国際空港とこれらの5地区を接続する。 風光明媚な道路、自転車、乗馬、歩行者用の遊歩道は、低炭素の旅を支え、モビリティへのスムーズで体験的なアプローチを促進する。
- ワディと低炭素の路面電車は、何世紀も前にヒジャーズ鉄道での巡礼によって使用されたルートをほぼたどる。オアシスから砂漠への旅は印象的で視覚的、そして思いを巡らせる体験を約束してくれる。
- 2035年までに合計5,000個の客室キーを、全体的な目標である9,400個の客室キーに追加する と、各地区には生活とホスピタリティが独自にブレンドされたオプションが提供される。

ホテルやエコツーリズムリゾートから、砂岩に刻まれたような豪華なロッジや峡谷の農場 に至るまで多彩である。

● キングダムズインスティテュート (Kingdoms Institute) は、計画の主要な推進機関として、 ダダンとリヒャンの古代王国や壮大なナバテア人 (ユネスコの世界遺産に登録されている ヘグラの街を建設した)を含む、この地域に7,000年以上生き続ける文化と文明に関する考 古学の知識と研究の世界的なハブになる。

ジャーニースルータイム マスタープランは、モハメッド・ビン・サルマン皇太子のリーダーシップと、サウジアラビア文化大臣であり、アルウラ王立委員会(RCU)委員長であるバドル王子の指導の下で作成された。

このマスタープランは、アルウラにすでに深く根差している特質、つまりユニークな文化、遺産、自然、コミュニティのオアシスを再現する方法として策定された。 アルウラの歴史の扉が新しい章として開かれることになる。

マスタープランに指定された各地区は、それ自体が文化的ランドマークであり、その特定の場所に固有の特異で進化し続ける歴史、地形、自然を反映している。 高度に差別化された村、経験、文化財を有するこの空間システムは、訪問者中心になるように設計されており、体験型の発見、探索、長期滞在に応えるものである。

このマスタープランは、世界遺産、知識、研究の保存と保護に対するサウジアラビアの新たな取り組みを象徴するものとして、国際的およびサウジアラビアの専門家チームが開発した、アルウラの人間模様、環境および地質学的進化に関する広範な科学的研究に裏付けられている。

脆弱な砂漠環境を持続可能かつ責任を持って開発するという課題への直接的な対応として、9kmの中核的「文化オアシス」の補充は、研究と革新的なソリューションを通じて、マスタープランの重要な要素になる。 サウジグリーンイニシアチブに貢献するアルウラの再生は、土地を活性化し、その地域の砂漠化の過程を逆転させる戦略によって支えられている。 最大1,000万平方メートルまでアルウラの緑のオープンスペースを大規模に拡張することにより、アルウラ遺跡の保護区、持続可能な農業生産の機会、そして訪問者に魅惑的な体験を提供する。

「キングダムズインスティテュート」と「文化オアシス」はマスタープランの2つの主要プロジェクトであり、世界の文化的および自然の遺産の保護、保存、貢献を行うための実行可能なモデルを世界に提供するというサウジアラビアの取り組みを反映している。

アルウラサステナビリティ憲章(AlUla Sustainability Charter)は、保護、保存、修復、再生、開発などの新しいバランスの取れた視点に基づく概念を構築し、持続可能性への革新的で統合されたアプローチの根拠を定めている。 憲章には、マスタープランの中心に、循環型経済の原則と組み合わせたゼロカーボン政策、遺産および環境的に脆弱な地域での開発、洪水および改善された水管理と植生に関する強力な再生政策が定められている。

このマスタープランは、何よりも、アルウラの市民とその将来への投資であり、アルウラ王立委員会がコミュニティの包括性を維持、発展させる取り組みを具体化したものである。 新しいコミュニティ主導のサービス、設備、文化的および教育的施設が計画に組み込まれており、アルウラの観光産業、文化事業および農業経済を強化することになる。 経済成長によって、何千年にもわたって先祖の価値観、技術、伝統の守護者だった地元コミュニティ内のアルウラの人材が数多く輩出されるだけでなく、住み、働き、探索するのに最適な場所に繁栄し活気のある社会が育まれる。

ジャーニースルータイム マスタープランは、アルウラの開発計画の最初のものであり、アルウラの開発の最初で最も重要な計画となる。 このプランは2035年まで3段階で実施され、最初の段階は2023年までに完了する予定であり、訪問者中心の包括的な体験を提供することを目的としている。

2035年にアルウラのより広範な開発戦略が完了すると、13万人に増加した人口に38,000人の新規雇用が創出され、アルウラは王国のGDPに1,200億SAR(320億米ドル)を貢献することになる。 さらに、アルウラ郡の80%が自然保護区に指定され、主要な動植物が再導入される。

これは、年間200万人の訪問者を迎え、合計9,400個のホテルの客室キーを提供し、アルウラの主要な経済的推進力として農業、芸術、文化、観光をさらに促進することによって生み出される収入によって達成される。ユニークな機会があれば、持続可能性、責任ある開発、コミュニティの包括性という王立委員会の価値観を共有するパートナーからのビジネスと投資がさらに促進され、加速することになる。

メディアに関するお問い合わせは、RCU広報チームまでご連絡ください。

publicrelations@rcu.gov.sa

アルウラについて

サウジアラビア北西部のリヤドから1,100kmに位置するアルウラは、大自然と人類の遺産が宿る地。 22,561km²の広大な土地には、青々としたオアシスの渓谷、そびえ立つ砂岩の山、数千年前の古代文化遺跡がある。

アルウラの最も有名な場所はヘグラで、サウジアラビア初のユネスコ世界遺産となった。52ヘクタールの古代都市へグラは、ナバテア王国の南部主要都市であり、保存状態の良い100以上の墓で構成されている。墓石には突き出た砂岩に繊細な装飾が施されている。最近の研究では、西暦106年にナバテア人を征服した後、ヘグラが古代ローマ人の最南端の前哨基地であったことがわかった。

へグラに加えて、アルウラには、一連の魅力的な歴史的および考古学的な遺跡がある。古代のオアシスに囲まれた旧市街、ダダン王国とリヒャン王国の首都であるダダン(アラビア半島で最も発展した紀元前1千年紀の都市の1つとみなされている)、ジャバルイクマの何千もの古代岩石美術の跡地と銘刻、ヒジャーズ鉄道駅。

編集者への注記:

Kingdoms Instituteは複数形であり、所有格ではない。

地名は常にAlUla (アルウラ) であり、 Al-Ula(アル-ウラ)ではない。

アルウラ王立委員会について

アルウラ王立委員会 (RCU) は、2017年7月に勅令により設立されており、北西サウジアラビアの重要な大自然と文化を有する地域である、アルウラの保護と発展に貢献している。RCUの長期計画は、都市と経済の発展に対する責任と持続可能性、環境に配慮したアプローチであり、その地域の自然と歴史遺産を保護するとともに、アルウラを魅力ある居住地、働く場所、訪問地として確立する目的がある。この計画には考古学、観光、文化、教育、芸術の幅広いイニシアチブが含まれ、サウジアラビア王国のビジョン2030プログラムの経済的多様性と地域の活性化、そして遺産保護優先活動への貢献が反映されている。

AFALULA(フランスのアルウラ開発庁)について

RCUは、マスタープランの開発において、パートナーであるフランスのアルウラ開発庁(AFALULA)と緊密に協力した。 AFALULAは、2018年4月にフランスとサウジアラビアが署名した政府間協定に続いて、2018年7月にパリで設立された。 AFALULAは、サウジアラビアのパートナーであるアルウラ王立委員会(RCU)を支援し、サウジアラビアの北西に位置し、卓越した自然と文化遺産の恩

恵を受けている地域、アルウラの経済的、観光的、文化的発展の共同建設を目的としている。 同開発庁の使命は、フランスの知識と専門知識を動員し、考古学、博物館学、建築、環境、観光、ホスピタリティ、インフラストラクチャ、教育、セキュリティ、農業、植物学、天然資源の持続可能な管理の分野で最高の事業者と企業を結集することにある。

その他のRCUの開発事業

過去3年間、RCUは世界中の複数のパートナーと他の開発事業を実施した。 この事業には、最近最初の国際便を迎えたアルウラ国際空港の容量を300%拡大することや、受賞歴のある多目的会議場およびエンターテイメント会場であるマラヤを建設することが含まれる。 世界最大の鏡張りの建物で500席を有するマラヤは、ノーベル賞受賞者のヘグラ会議やアンドレアボチェッリやランランなどのアーティストをフィーチャーした「タントラの冬」文化祭など、世界的にも特別なイベントを主催している。 さらに、以前に発表された特別ホスピタリティプロジェクトには、アコー/バンヤンツリー、ハビタス、ジャンヌーヴェルとの提携による高級リゾートの開発が含まれる。

詳細については、RCUファクトシートをご覧ください。